

施策番号	2201	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	多様なスポーツの機会を提供します	日頃から運動やスポーツをしている区民の割合	%	目標	65.3	66.5	67.7
				実績	61.8	68.6	62.0
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	区民健康スポーツ参加促進事業	生涯スポーツ課	◎	1306
	計画	高齢者の健康づくりの推進	生涯スポーツ課	◎	1308
	計画	障害者スポーツの推進	生涯スポーツ課	◎	1310
		かつしか地域スポーツクラブを中心としたスポーツ環境整備	生涯スポーツ課	◎	1312
		かつしかふれあいRUNフェスタ事業	生涯スポーツ課	◎	1314
		キャプテン翼CUPかつしかの開催	生涯スポーツ課	◎	1316
		区民体育大会	生涯スポーツ課	◎	1318
		少年スポーツ等推進	生涯スポーツ課	◎	1320
		スポーツ推進委員との協働事業	生涯スポーツ課	◎	1322
		スポーツフェスティバル	生涯スポーツ課	◎	1324
		地域スポーツ活動推進	生涯スポーツ課	◎	1326
		スポーツ推進委員委嘱	生涯スポーツ課	○	1328
		体育協会助成	生涯スポーツ課	○	1329
		文化・スポーツ活動費助成	生涯スポーツ課	○	1330

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	区民健康スポーツ参加促進事業						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	平成28年度						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	3(2)	
事務事業目的	<p>(一社)葛飾区体育協会と協働して、体育協会加盟団体のスポーツ種目を中心に、高齢者・障害者・ジュニア層・働き盛り世代など、あらゆる世代を対象として、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ教室、体験会などの事業を実施して、スポーツ実施者のすそ野を拡大する。</p>										
実施内容	<p>促進事業の内容は、主な対象者を区民とする次に掲げる事業とする。</p> <p>(1) 概ね60歳以上を対象とする初心者スポーツ教室、スポーツに関する講演会や講習会等</p> <p>(2) 障害のある者を対象とするスポーツ教室、交流大会等 (ただし障害のない者の参加を妨げるものではない。)</p> <p>(3) ジュニア層を対象とする初心者スポーツ教室、スポーツに関する講演会や講習会等</p> <p>(4) 未就学児とその保護者を対象とするスポーツ事業（特に、定期的、継続的に実施する、概ね8回以上のスポーツ教室等を推奨する。)</p> <p>(5) 継続的にスポーツ活動を実践するために、その動機付けとなる事業（特に、働き盛り世代が参加しやすい工夫を施した事業の実施を推奨する。)</p> <p>(6) 広く区民が参加できるスポーツ事業</p> <p>(7) 審判その他のスポーツ指導者を育成する事業</p> <p>(8) その他、区民のスポーツ実施率向上を図り、区民の健康寿命の延伸に寄与する目的とした事業。</p> <p>区は上記事業の実施のため、(一社)葛飾区体育協会の運営を支援し、事業運営経費の一部を補助する。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	参加者数	参加者数 (指導者・役員等は除く)	人	目標	2,400	3,000	3,500
				実績	2,608	2,697	1,230
活動	実施件数	事業実施件数	事業	目標	20	30	35
				実績	27	28	25
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	7,472	7,902	7,526	
支出	直接事業費 (b)	6,782	6,717	5,966	
	職員人件費 (c)	690	1,185	1,560	
		業務量（人）	0.15	0.15	0.20
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	0	135	190	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	0	135	190	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	7,472	8,037	7,716	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	参加者数		
実績数値 (g)	2,608	2,697	1,230
単位あたり区単コスト (a/g)	2,865	2,930	6,119
単位あたりコスト (f/g)	2,865	2,980	6,273

実施状況に対する評価	<p>昨年度の29事業から5事業を増やして34事業で計画していたが、新型コロナウイルスの影響で9事業が中止となり、最終的に25事業を実施した。内訳はジュニア向け11事業（うち1事業中止）、審判・指導者講習会3事業（うち1事業中止）、シニア向け5事業（うち1事業中止）、年齢不問14事業（うち5事業中止）、その他1事業であった。</p> <p>体育協会の各団体は当制度を活用して、毎年定着化させる事業がある一方で、事業内容の見直しや改善を図る事業も多く見られ、創意工夫しながら競技人口の向上に努めている。</p>
今後の方向性【継続】	<p>体育協会に加盟する各団体における競技の特性によって、興味を持つ世代や性別、競技人口は大きく異なる。各団体の現状を踏まえたうえで、競技人口の増加や競技力の向上に向けて、体育協会とともに支援・助言していく。</p> <p>併せて、これまで展開が難しかった「働き世代」に向けた事業の拡大を目指す。多くの団体に事業を実施してもらうことで、区民にも多様な選択肢を用意し、参加者を増やしてスポーツ人口の底上げを図っていく。</p> <p>引き続き、いつでも、どこでも、だれもがスポーツに参加できる事業を、体育協会とともに取り組んでいく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	高齢者の健康づくりの推進						担当部	教育委員会事務局	関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課		
開始年度	—						個別計画	スポーツ推進計画		
根拠法令	スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(6)
事務事業目的	高齢者健康体操プログラムの提供やスポーツ指導員の養成などの環境整備をすることにより、高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを進める。									
実施内容	<p>【概要】 高齢者が自主的・積極的に安心して運動を行うことができる環境整備として定期的に体力テスト測定会を実施し、継続的にスポーツを行う啓発を進めるとともに、スポーツのきっかけづくりの場として各種スポーツ教室やプログラムの提供を行う。併せて、指導員の養成講習会などを実施して活用することで人材育成を図る。また、高齢者を対象とした誰もが気軽に参加できるシルバーエンジョイスports大会及び、一般区民おおむね40歳以上の熟練者を対象としたマスターズ大会を区・教育委員会・体育協会主催で開催する。 区は事業の企画・立案、事業実施に必要な指導員の手配、各種契約、広報等の関連事務を行う。スポーツ教室・スポーツ大会の運営は基本的に各スポーツ団体や指定管理者に委託して実施する。</p> <p>【活動内容】 ①区民向け体力テストの実施 ②スポーツ指導員およびスポーツボランティアの養成・活用 ③各種スポーツ教室の実施（高齢者健康体操教室、ウォーキングイベント、推奨スポーツ3種類の教室など） ④スポーツ大会の実施</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	スポーツ指導員及びスポーツボランティア登録数	スポーツ指導員認定登録者＋スポーツボランティア認定新規登録者	人	目標	80	80	80
				実績	85	59	57
成果	高齢者スポーツ事業(教室)の参加人数	体力テスト＋ウォーキングランニング事業＋高齢者健康体操教室	人	目標	—	1,700	1,800
				実績	1,638	2,066	1,220
活動	推奨スポーツの大規模大会	2013東京国体で本区が会場となった競技の大会実施数	大会	目標	3	3	3
				実績	3	3	1
活動	区民向け体力テストの実施	開催地域数×回数	回	目標	14	14	4
				実績	14	17	11
活動	ウォーキング・ランニング推進（マップ活用事業）	ウォーキング教室・ランニング教室の実施回数	教室	目標	—	6	10
				実績	—	6	10
活動	高齢者健康体操教室	開催教室数	教室	目標	8	8	5
				実績	8	8	5
活動	スポーツ指導員養成	講習会（専門科目）の実施種目数	種目	目標	3	3	3
				実績	3	3	3
活動	スポーツボランティア講習会	研修等実施回数	回	目標	2	2	2
				実績	2	2	2

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	18,987	15,579	13,332	
支出	直接事業費 (b)	11,617	6,889	4,752	
	職員人件費 (c)	7,370	8,690	8,580	
		業務量（人）	1.10	1.10	1.10
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	700	990	1,045	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	700	990	1,045
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	19,687	16,569	14,377	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（人）		
実績数値 (g)	5,507	6,380	2,925
単位あたり区単コスト (a/g)	3,448	2,442	4,558
単位あたりコスト (f/g)	3,575	2,597	4,915

実施状況に対する評価	<p>体力テスト測定会については、奥戸・水元の2会場で規模を拡大して実施したほか、区内銭湯9会場で出前形式により実施した。会場規模は拡大したものの、密を避けるため、定員を制限して実施したため、延べ参加者数は昨年度の3割程度の195人に留まった。参加者満足度は、10月に実施した奥戸会場では81%だったが、12月に実施した水元会場では87%まで上昇した。</p> <p>ランニング教室・ウォーキング教室を計10回に拡充して開催し98人が参加したほか、区内18か所に設置しているランニングステーションは、年間延べ502人の利用があった。11月に実施した柴又・水元紅葉ウォーキングは、266人の参加があり、参加者満足度は97%、3月に実施したシティロゲイニングは、144人の参加があり、参加者アンケートの満足度は95.6%とそれぞれ高評価だった。</p> <p>高齢者健康体操教室は、令和2年度から3会場を、地域スポーツクラブプログラムによる運営に移行したほか、第1期から第3期までのうち、第1期（7日間）の日程をすべて中止にしたため、延べ参加者数は前年度の2割程度の163人となった。</p> <p>スポーツボランティア研修会の参加者満足度は87%、リーダー養成研修会は100%という結果であった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>体力テスト測定会は令和3年度も会場に奥戸・水元の体育施設を使用し、大規模な体力測定会を実施する。</p> <p>引き続き、高齢者が参加しやすいプログラムを実施していくとともに、葛飾区スポーツ指導員ほかスポーツボランティアの育成及び研修に力を入れ、高齢者におけるスポーツ人口の拡大と健康寿命の延長に向けた施策を展開する。</p>

事務事業評価表

事務事業名	障害者スポーツの推進							担当部	教育委員会事務局		関係課	障害福祉課
								担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	—							個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—											
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(7)		
事務事業目的	<p>障害者にスポーツ教室や障害者スポーツ指導員の養成などの環境を整備することにより、自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを推進する。</p>											
実施内容	<p>【概要】 障害者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境整備として、スポーツのきっかけづくりの場として各種スポーツ教室やプログラムの提供を行う。併せて指導員の養成講習会の実施や指導機会を提供するなど人材育成を図る。 区は事業の企画・立案、事業実施に必要な指導員の手配、各種契約、広報等の関連事務を行う。スポーツ教室・講習会・スポーツ大会の運営は基本的に各スポーツ団体や指定管理者に委託して実施する。</p> <p>【活動内容】 ①障害者専用水泳レーン及び水泳教室の実施 ②障害者向けスポーツ教室及びスポーツ開放の実施 ③障害者が参加できるスポーツ大会の実施 ④障害者スポーツ指導員の養成及び活用</p>											

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	障害者スポーツ教室参加者総数(トランポリン、複数種目、水泳、短期水泳、専用コース、ボッチャ、ユニバーサルスポーツ)	障害者教室事業における延べ参加者数	人	目標	—	1,600	1,700
				実績	1,391	1,277	1,276
活動	葛飾区ボッチャ協会	活動内容	—	目標	普及	普及	普及
				実績	普及	普及	普及
活動	障害者スポーツ教室(複数種目・トランポリン)	実施回数	回	目標	24	24	24
				実績	24	23	20
活動	障害者水泳教室・専用レーン、夏季短期水泳教室	実施回数	回	目標	46	46	46
				実績	46	41	30
活動	フロアホッケー普及事業	大会・教室・開放事業実施回数	回	目標	1	2	35
				実績	2	8	40
活動	ボッチャ普及事業	大会・教室・開放事業実施回数	回	目標	44	44	44
				実績	47	40	42
活動	障害者指導員養成・活用	指導員認定人数	人	目標	10	10	10
				実績	11	7	14

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	3,000	2,634	1,824
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	10,708	10,182	12,452	
支出	直接事業費 (b)	5,318	4,916	4,916	
	職員人件費 (c)	8,390	7,900	9,360	
		業務量 (人)	1.25	1.00	1.20
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	800	900	1,140	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	800	900	1,140	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	14,508	13,716	15,416	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	参加者数		
実績数値 (g)	1,391	1,277	1,276
単位あたり区単コスト (a/g)	7,698	7,973	9,759
単位あたりコスト (f/g)	10,430	10,741	12,082

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、障害者水泳教室及び水泳専用レーン、障害者トランポリン教室（前期）は4月～6月まで中止、夏の短期障害者水泳教室は全日程中止とした。また、レクリエーションボッチャ一般開放は4月・5月を中止とした。</p> <p>ボッチャ交流大会は昨年に引き続き葛飾区ボッチャ協会が運営し、アスリートを招いた体験会も実施した。</p> <p>フロアホッケー大規模大会はコロナ禍ではあったが、規模を縮小して実施した。また、令和2年1月に開始したのびのびユニスポ広場は、4月・5月は中止としたものの、全39回実施し、延べ443人の参加があった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>障害者向けのスポーツ教室は年々参加者が減少している。引き続き既存の参加者だけでなく、新規施設への呼びかけや告知方法の改善など、新たな参加者を開拓していく。</p> <p>障害者が自主的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、障害者スポーツ指導員の養成及び年間を通して定期的に教室を開催して指導員の活動の場を提供していく。</p> <p>引き続きボッチャ競技の普及推進を行い、ユニバーサルスポーツの普及と発展を図る。</p>

事務事業評価表

事務事業名	かつしか地域スポーツクラブを中心としたスポーツ環境整備						担当部	教育委員会事務局	関係課	地域振興課 教育総務課
							担当課	生涯スポーツ課		
開始年度	平成20年度						個別計画	スポーツ推進計画		
根拠法令	スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	1(2)
事務事業目的	かつしか地域スポーツクラブを区とのスポーツ協働事業や地域コミュニティの促進などの役割を担っていただけるよう育成・支援を図り、健康でともに支えあい、いきいき暮らせる地域社会づくりの一助とする。									
実施内容	<p>【概要】 かつしか地域スポーツクラブが地域スポーツ推進の担い手として重要な役割を果たしているよう、さらなる育成と活動の充実を図りながら、スポーツ環境を整備し、地域住民が主体的に取り組むスポーツを通じたコミュニティ拠点として、充実・発展していくことを促進する。 区は団体に対し運営を支援し経費の一部を補助する。また、団体に委託して学校連携事業等を協働で実施する。</p> <p>【活動内容】 ①区とのスポーツ協働事業 ②学校との連携事業（地域スポーツクラブを通して、学校にアスリートの派遣等を行う） ③民間団体等とのスポーツ協働事業</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	延べ参加者数	年間プログラム総参加者数	人	目標	56,160	65,760	58,560
				実績	62,429	56,739	33,465
成果	スポーツクラブ会員総数	スポーツクラブ会員総数 (年度末の数値)	人	目標	1,170	1,220	1,270
				実績	1,347	1,299	1,144
活動	高齢者健康促進事業	事業数	—	目標	2	2	5
				実績	8	8	5
活動	ジュニア世代健康促進事業	事業数	—	目標	2	2	2
				実績	2	2	2
活動	働き世代健康促進事業	事業数	—	目標	検討	検討	検討
				実績	検討	検討	検討
活動	学校との連携事業 (学校体育事業にアスリート派遣等)	実施日数	—	目標	27	27	27
				実績	31	31	30

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	9,988	11,653	10,320	
支出	直接事業費 (b)	2,878	4,938	2,520	
	職員人件費 (c)	7,110	6,715	7,800	
		業務量（人）	0.90	0.85	1.00
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	900	765	950	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	900	765	950
		（控）コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	10,888	12,418	11,270	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（年間プログラム総参加者数）（人）		
実績数値 (g)	62,429	56,739	33,465
単位あたり区単コスト (a/g)	160	205	308
単位あたりコスト (f/g)	174	219	337

実施状況に対する評価	<p>地域スポーツクラブの会員総数及び参加者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために4月・5月を休会としていたことで、会員総数が前年比約4割、参加者数が前年比約1割の減となった。</p> <p>一方で、オール水元スポーツクラブのジュニア硬式テニス教室については特別講師として、昨年度に引き続き葛飾区トップアスリートである西村佳奈美選手を招聘し、参加者が身近に触れ合える場を設けた。また、学校連携事業についても目標値及び昨年度実績を上回る日数で実施した。なお、両クラブのイベント（フェスタ）内は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>区民のスポーツを通じた健康づくりへの関心をさらに高めつつ、区全体に地域スポーツクラブの認知を高めることで、両クラブの会員確保と参加者拡大に繋げていく。</p> <p>高齢者はつらつ健康体操教室は、引き続き一部会場をクラブの自主事業とすることで、参加者が他のプログラムへも参加できるよう促す。また、区との協働事業であるジュニア教室について、令和3年度からは、こやのエンジョイくらぶが「体操教室」、オール水元スポーツクラブが「陸上教室」を新たに実施する。令和2年度まで区と協働で実施していた「テニス教室」は両クラブとも自主運営する形に移行し、参加者拡大に繋げていく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	かつしかふれあいRUNフェスタ事業							担当部	教育委員会事務局	関係課	—
								担当課	生涯スポーツ課		
開始年度	平成25年度							個別計画	スポーツ推進計画		
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(8)	
事務事業目的	子どもから高齢者まで区民の誰もが参加できるスポーツの機会を提供し、スポーツ実施率の向上や健康増進に取り組むきっかけづくりとともに、これを契機に、多世代の交流や地域の交流、さらには、区民や関係団体等との協働をより一層推し進め、スポーツによる元気なまちづくりにつなげていく。										
実施内容	<p>【実施内容】 「ふれあい健康RUN（1km～5km）」では、他の多くの大会で見られる年齢による区分ではなく、子どもから高齢者まで、家族や仲間同士が自身の体力に応じた距離で参加することができるとともに、競技性を持たせた「チャレンジRUN（10km・ハーフ）」も実施する。 また、区内関係団体や学生などによる運営補助、地元飲食店や協力団体などによるブースの出店、会場付近の商店街などと連携した参加者サービスなどにより「葛飾らしさ」を演出し、会場に訪れる参加者や家族、仲間などが、大いに楽しめるイベントとしていく。 企画・運営はかつしかふれあいRUNフェスタ実行委員会を組織して行う。区は実行委員会の事務局として運営を支援するとともに、経費の一部を助成する。</p> <p>【実施日】 3月の第2日曜日 （令和3年度は令和4年3月13日で実施予定） 【会場】 堀切水辺公園及び荒川河川敷管理道路</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	出走者からの評価	「大会レポ」採点点数 平均点	点	目標	85	85	85
				実績	83	—	87
活動	全エントリー数	全種目のエントリー数合計	人	目標	7,420	7,420	7,420
				実績	7,116	7,488	917
活動	区民エントリー数	全種目の区民エントリー数合計	人	目標	3,600	3,600	3,600
				実績	3,527	3,553	395
活動	協力団体数	イベントに協力した団体の合計	団体	目標	23	23	23
				実績	20	22	83
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	35,091	25,342	9,905
支出	直接事業費	(b)	24,526	19,812	2,105
	職員人件費	(c)	10,565	5,530	7,800
		業務量 (人)	1.40	0.70	1.00
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	1,250	630	950
	減価償却費		0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	1,250	630	950
		(控) コスト対象外	0	0	0
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	36,341	25,972	10,855	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2	
単位の定義	全エントリー数 (人)			
実績数値	(g)	7,116	7,488	917
単位あたり区単コスト	(a/g)	4,931	3,384	10,802
単位あたりコスト	(f/g)	5,107	3,468	11,838

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スマートフォンアプリを活用し、距離やタイムを計測する方法でオンライン大会として実施した。</p> <p>総エントリー数 (917人) は従来大会と比較し、大幅に減少はしたものの、参加エリアとしては、7県増加した。また、大会期間中に従来の会場である堀切水辺公園にかつしかふれあいRUNフェスタコースの再現や区内外83店舗が協力店舗 (施設) として、参加者への割引などのおもてなしサービスの実施したほか、葛飾区ゆかりのアスリート等が参加して大会を盛り上げる「ゲスト企画」や、友達等とチームを組んで楽しむ団体戦を実施した。また、大会参加者向けのランニング教室や陸上競技場無料開放を実施したほか、本大会の魅力为全国に発信するために、インスタグラムを活用したフォトコンテストを実施するなど、内容の充実したイベントとなった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>今後も、子どもから高齢者まで幅広い層の区民が、個人や家族、仲間同士でランナーやスタッフ、応援者など、さまざまな形でイベントに参加できる機会を確保しながら、よりスポーツ実施率の向上や健康増進をはじめ、多世代の交流や地域の交流などが促進されるイベントを開催する。そのため、ハーフマラソンの部の一部を公道コースに設定する方向で検討を重ね、令和6年度開催を目指し、今まで以上に魅力のあるイベントへの成長を図る。</p>

事務事業評価表

事務事業名	キャプテン翼CUPかつしかの開催						担当部	教育委員会事務局		関係課	政策企画課 広報課 観光課
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	平成27年度						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(12)	
事務事業目的	青少年の健全育成と地域活性化を目的に、少年サッカーの試合のほか、キャプテン翼ゆかりの自治体と連携することで、葛飾区の魅力、地方の魅力を全国に発信し、地域活性化と自治体間の交流を広げる。										
実施内容	<p>【実施内容】 U-12のジュニアチームによる8人制の少年サッカー大会「キャプテン翼CUP」を、葛飾区と招待チームで実施する。また、漫画「キャプテン翼」に登場するチームゆかりの自治体を招いて物産展を開催することで、区民をはじめ来場者に各地の魅力と、サッカーの街かつしかをPRしていく。 この他、エキシビジョンマッチ、トークショーのほか、区民向けにサッカー交流会やステイジイベント等を実施する。 大会の企画運営は南葛SCへ委託し、会場設営、エキシビジョンマッチに出場する選手の手配、印刷物の作成、出場チームとの連絡調整等を担う。区は委託事業者との調整をはじめ、各自治体との調整、キャラクター版権の使用、招待チームの旅行業務を行う。</p> <p>【実施日】 1月の第2土曜日・日曜日 (令和3年度は令和4年1月8日・9日で実施予定)</p> <p>【会 場】 奥戸総合スポーツセンター陸上競技場 水元総合スポーツセンター多目的広場 東金町運動場多目的広場</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	大会来場者数	チーム関係者、観客、物産来場者等を含めた参加者数	人	目標	8,800	9,800	12,800
				実績	8,470	12,290	—
成果	交流自治体数	物産展参加自治体の数	都市	目標	8	8	8
				実績	8	8	—
活動	参加チーム数	サッカー大会に参加したチーム数	チーム	目標	16	24	24
				実績	16	24	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	5,000	5,000	0
		その他	1,000	1,000	0
	一般財源 (a)	27,090	27,864	9,024	
支出	直接事業費 (b)	23,710	25,174	54	
	職員人件費 (c)	9,380	8,690	8,970	
		業務量 (人)	1.25	1.10	1.15
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	1,100	990	1,093	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	1,100	990	1,093	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	34,190	34,854	10,117	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	大会来場者数 (人)		
実績数値 (g)	8,470	12,290	—
単位あたり区単コスト (a/g)	3,198	2,267	—
単位あたりコスト (f/g)	4,037	2,836	—

実施状況に対する評価	<p>ゆかりの地招待チームが7自治体中、3自治体より辞退の申し出、1自治体が保留の状況であったこと、不特定多数を集めたイベントの開催が困難であることなどから、事業の目的を達成できないと判断し、イベントは中止となった。</p>
今後の方向性【改善】	<p>サッカー大会は24チームによる運営が限界であり、暫くは現状維持による展開となる。前回大会に初開催したステージイベントやアトラクション、区民サッカー交流会はいずれも来場者数の増加に貢献していることから、今後も継続していく。</p> <p>ゆかりの地交流会を第1回から夕食ケータリング形式で実施してきたが、次回大会からは、前回大会で好評だったフレンドリーマッチを拡充する形で、選手同士の交流がより深まるための企画を検討していく。併せてチームによる旅行費用の一部負担の検討を継続するほか、協賛企業を増やすことで経費削減を目指す。</p> <p>「青少年の健全育成と地域活性化」という基本方針の下、少年サッカー大会の本質は残す一方で、物産展や交流事業については常に時代に即した見直しを図っていく。“キャプテン翼ゆかりのまち葛飾” “サッカーのまち葛飾”をPRするとともに、参加するゆかりの地全自治体の魅力を発信し、連携・協働をさらに強化していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	区民体育大会						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	昭和23年						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(8)	
事務事業目的	区民が日頃の練習の成果を試す機会を提供し、各世代に合わせた競技力向上・健康維持増進、また継続的にスポーツに親しめるようにする。										
実施内容	<p>体育協会加盟の各団体が主管となり、各種目において少年少女から高齢者を対象とした区民体育大会（春季約30種目・夏季3種目・秋季約30種目・冬季2種目・通年1種目）、墨東五区大会（葛飾区当番区年度内2～3種目）、都民大会（春季28種目・夏季2種目・冬季2種目）を実施する。区民体育大会および墨東五区大会において区は会場の確保、物品の購入、賞状・プログラムの印刷等の契約事務、広報紙・インターネットによる各大会の募集案内、大会要項・申込書配布などを行い、大会の運営は体育協会加盟の各団体が行う。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	区民体育大会の延べ参加人数	—	人	目標	32,000	32,000	32,000
				実績	30,728	30,157	9,021
活動	区民体育大会の延べ大会数	—	回	目標	69	69	69
				実績	68	66	22
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	24,151	24,691	14,707	
支出	直接事業費 (b)	14,611	15,211	4,567	
	職員人件費 (c)	9,540	9,480	10,140	
		業務量（人）	1.50	1.20	1.30
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	800	1,080	1,235	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	800	1,080	1,235
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	24,951	25,771	15,942	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（人）		
実績数値 (g)	30,728	30,157	9,021
単位あたり区単コスト (a/g)	786	819	1,630
単位あたりコスト (f/g)	812	855	1,767

実施状況に対する評価	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた69大会のうち22大会のみの実施となった。それに伴い、参加者数も前年比約7割減と大きく影響を受けた。
今後の方向性【継続】	今後も体育協会と連携しながら、競技人口の拡大と競技力の向上を目指すべく、「区民健康スポーツ参加促進事業」に参加した方が競技者となり、競技人口が拡大するように取り組んでいく。

事務事業評価表

事務事業名	少年スポーツ等推進						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	—						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(5)	
事務事業目的	区内小中学生等に対して、様々なスポーツの機会を提供することで、健康でいきいきとした生活を送ることができる状態にする。										
実施内容	<p>【概要】 主として小学生・中学生に対しスポーツを始めるきっかけづくりの場としての教室や気軽に参加できるスポーツ大会など多様なスポーツの機会を提供するために実施する。 区は事業の企画・立案、事業実施に必要な指導員の手配、各種契約、広報等の関連事務を行う。スポーツ教室・スポーツ大会の運営は基本的に各スポーツ団体に委託して実施する。</p> <p>【活動内容】 スポーツ教室 区民スポーツ大会（ジュニアエンジョイスports） 水泳管理指導員養成講習会 東京オリンピック・パラリンピック関連事業（トランポリン大会）など</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	少年スポーツ等教室参加者数	—	人	目標	220	220	500
				実績	383	843	321
活動	全教室の実施回数の合計	—	回	目標	6	6	8
				実績	9	12	5
活動	少年スポーツ等区民スポーツ大会参加者数	延べ参加者数（エンジョイスports総合開会式＋当日のスポーツ教室＋ジュニアエンジョイスports大会）＋その他の大会（人）	人	目標	23,000	23,500	10,000
				実績	18,809	20,058	5,382
活動	大会数	—	回	目標	17	17	17
				実績	20	19	7
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	23,068	23,952	16,474	
支出	直接事業費 (b)	14,808	15,262	7,894	
	職員人件費 (c)	8,260	8,690	8,580	
		業務量（人）	1.15	1.10	1.10
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	900	990	1,045	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	900	990	1,045
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	23,968	24,942	17,519	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（エンジョイスports総合開会式＋当日のスポーツ教室＋ジュニアエンジョイスports大会）＋その他の大会（人）		
実績数値 (g)	18,809	20,058	5,382
単位あたり区単コスト (a/g)	1,226	1,194	3,061
単位あたりコスト (f/g)	1,274	1,243	3,255

実施状況に対する評価	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、エンジョイスports総合開会式及び当日のスポーツ教室はすべて中止となった。また、同様の理由で、ジュニアエンジョイスports大会も複数の大会が中止となったことで、教室及び大会の参加者数は大幅に減少した。
今後の方向性【継続】	今後も継続して区の広報や体育協会のホームページ等を通じて、参加者の拡大に努める。 また、各団体・競技のジュニア向け競技者を発掘・育成するため、（一社）体育協会と協働して区民健康スポーツ参加促進事業等を活用し、広く展開していく。

事務事業評価表

事務事業名	スポーツ推進委員との協働事業					担当部	教育委員会事務局		関係課	—
						担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	昭和37年度					個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	1(1) の一部
事務事業目的	スポーツ推進のための事業の実施にかかる連絡調整、並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うほか、行政と地域が協働してスポーツ振興施策を企画立案をして区民の生涯スポーツ活動の環境づくりを支援する。									
実施内容	<p>【スポーツ推進委員とは】 教育委員会が委嘱（定員55名・報酬月額@9,200円・任期2年）スポーツ振興施策への企画・立案への参画、実技指導、スポーツ団体・グループ組織の育成、地域スポーツの推進のための連絡・調整などを図るために活動をしている。</p> <p>【教育委員会関連事項】 常任委員会・定例会や委嘱・退任等の関連事務を行う。 スポーツ推進委員の主な職務：区・教育委員会事業への協力・体育関連の研究・調査、地域スポーツ振興、学校開放支援活動を行う。</p> <p>【スポーツ推進委員主催・協力事業】 紅葉ウォーキング・区民体力テスト測定会（以上主催事業：共催含む） こどもまつり・スポーツフェスティバル・かつしかふれあいRUNフェスタ（以上協力事業）など</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	スポーツ推進委員活動人数	主催・協力事業及び研修会に参加したスポーツ推進委員の述べ人数	人	目標	1,500	1,500	1,500
				実績	1,521	1,258	629
活動	主催・協力事業数	全主催・協力事業及び研修会活動回数	回	目標	55	55	55
				実績	56	49	22
活動	延べ参加者数	主催・協力事業における参加者総数	人	目標	50,000	50,000	40,000
				実績	49,283	37,795	5,418
—	—	—	—	目標	—	—	—
—	—	—	—	実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
—	—	—	—	実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	11,942	10,498	11,202	
支出	直接事業費 (b)	7,111	6,450	7,302	
	職員人件費 (c)	4,740	3,950	3,900	
		業務量 (人)	0.60	0.50	0.50
	間接費 (d)	91	98	0	
	調整額 (e)	600	450	475	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	600	450	475	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	12,542	10,948	11,677	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数 (主催・協力事業) (人)		
実績数値 (g)	49,283	37,795	5,418
単位あたり区単コスト (a/g)	242	278	2,068
単位あたりコスト (f/g)	254	290	2,155

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、事業数や参加人数が全体的に減少しているが、対策を講じたうえで安全に楽しんでいただけたよう、工夫して事業開催をした。</p> <p>令和2年度から大規模開催を予定していた体力テストは、定員を絞った運営となったが、申し込み開始後すぐに定員に達し、ニーズの強さが伺えた。より多くの方を受け入れるため、当日に向けてスポーツ推進委員内で研修会を重ね、計125名の方が安全に体力テストに参加することが出来た。</p> <p>例年協力している「こどもまつり」や地域スポーツクラブイベントは中止、令和2年度に本区が当番区だった「広域地区別研修会」は令和3年度に延期となった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>体力テスト測定会は令和2年度開催時の反省点やノウハウを活かし、昨年度より多くの方に参加いただける工夫をするとともに、各課が実施するイベントへ出前開催することで参加の敷居を低くし、参加者増に取り組む。</p> <p>また、レクリエーションスポーツの普及・推進のため、9月の広域地区別研修会では普及活動を他区へ紹介し、1月のレクリエーションスポーツ大会で広く区民へ推進することを目指す。</p>

事務事業評価表

事務事業名	スポーツフェスティバル						担当部	教育委員会事務局	関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課		
開始年度	昭和52年度						個別計画	スポーツ推進計画		
根拠法令	スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(9)
事務事業目的	体育の日を記念したスポーツの祭典として、区民に広くスポーツへの理解と関心を深め、積極的にスポーツ活動に参加する意欲と高揚を促すとともに、多くの区民にスポーツと健康の大切さを意識させてゆく。									
実施内容	スポーツ基本法第23条に基づき、体育の日において区民に広くスポーツについて関心と理解を深め、かつ積極的にスポーツを行う意欲を高揚するような行事として、区内全スポーツ施設を利用して、各種スポーツイベントを実施する。陸上競技場では、地区対抗競技（参加地区：青少年育成地区委員会19地区）や、誰でも自由に参加できる、パン食いゲームなどの区民大運動会を実施する。また、陸上競技場周辺広場や体育館内では、様々なスポーツ体験コーナー、区内企業や障害者施設によるフードコート、施設を巡ってスタンプを集めるウォークラリーイベントを実施する。その他、温水プールやトレーニングルーム・野球場・テニスコートなど施設無料開放や、民間フィットネスクラブによる協賛プログラムを実施するなど、区民がスポーツを気軽に楽しめる1日となるようなイベントを実施する。企画・運営は関係団体による実行委員会を組織して行う。区は実行委員会の事務局として、各団体間の調整、庶務を行う。 また、イベント・教室の運営委託、物品購入等の関連事務を行う。									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	全イベントの参加人数	イベントに参加した延べ人数	人	目標	38,000	38,000	20,000
				実績	40,306	28,350	3,952
活動	実施イベント数	全イベント数	回	目標	100	100	100
				実績	117	109	66
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	17,929	18,386	11,723
支出	直接事業費	(b)	10,524	10,486	3,533
	職員人件費	(c)	7,405	7,900	8,190
		業務量（人）	1.00	1.00	1.05
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	850	900	998
	減価償却費		0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	850	900	998
	(控) コスト対象外	0	0	0	
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	18,779	19,286	12,721	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2	
単位の定義	延べ参加者数（人）			
実績数値	(g)	40,306	28,350	3,952
単位あたり区単コスト	(a/g)	445	649	2,966
単位あたりコスト	(f/g)	466	680	3,219

実施状況に対する評価	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、予定していたプログラムをすべて見直し、万全の感染防止対策を実施できるプログラムのみにより、申込方法も事前申込制として開催した。</p> <p>開催規模の縮小や、開催日前日に台風が接近したことによる一部プログラムの中止も重なり、参加人数（3,952人）やイベント実施数（66）は例年の数値を大きく下回る結果となった。しかし、区内の数々の大規模イベントが中止となる中、プログラム毎に実施方法を工夫し、感染防止対策を徹底することにより、コロナ禍でのイベント開催を成功させることができた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>区民がスポーツについての理解と関心を深めるスポーツデーとして、より多くの区民があらゆる場面でスポーツと健康を意識し、スポーツを生涯にわたり実践することができるきっかけづくりの一日として様々なイベントを開催する。</p> <p>令和3年度は、メイン会場を奥戸総合スポーツセンターから水元総合スポーツセンターに移し、屋外会場を中心とした様々なスポーツ体験ブースや公募によるステージイベントの開催等、新たなイベント運営や開催内容の充実を図ることで、より幅広い世代・地域の方々の参加を目指す。</p> <p>なお、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、令和3年度はスポーツの日が7月に移動するため、10月第2日曜日の実施となる。このため、地区委員会から選手の派遣が困難であるとの報告を受けたため、令和2年度に引き続き、地区別対抗運動会の実施は見送ることが決定している。</p>

事務事業評価表

事務事業名	地域スポーツ活動推進						担当部	教育委員会事務局		関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	—						個別計画	スポーツ推進計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(11)	
事務事業目的	地域及び自主グループ等が主体となって実施するスポーツ活動を支援することにより、区民が身近な場所でスポーツ活動を楽しみ、継続的に実施できるように促す。										
実施内容	<p>区は本事業の実施に際し、下記の業務を担当する。</p> <p>【地区ロードレース】 地域のスポーツ行事を運営支援し、企画・立案に関する指導・助言や、運営物品の貸し出しを行う。</p> <p>【健康体操（コミュニティー健康体操）の実施】 自主サークル等のスポーツ活動に対し、指導員派遣・自主サークル等の運営の指導・助言を行う。</p> <p>【ニュースポーツ用具の貸出し】 グラウンド・ゴルフや輪投げ等の用具を、地域や自主サークルの要望に応じて、無料で貸し出す。</p> <p>【私学事業団総合運動場活用事業】 私学事業団総合運動場を活用した事業の企画・立案及び運営を行う。</p> <p>【葛飾区トップアスリート活動助成金】 葛飾区にゆかりのあるアスリートのなかから、東京2020大会の出場を目指す選手に向けて、年間上限を20万円として、活動費の一部を助成する。 なお、パラアスリートについては介助費として、15万円を上限として助成する。 このほか、区スポーツイベントや教室にトップアスリートを講師として招聘し、区民と触れ合うことで、区のスポーツ振興に関わってもらう。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	地区ロードレース大会の参加者数	—	人	目標	16,000	16,000	13,000
				実績	12,561	8,849	—
活動	地区ロードレース大会数	—	回数	目標	19	19	19
				実績	18	14	—
活動	健康体操の参加者数	—	人	目標	1,500	1,500	1,239
				実績	110	64	100
活動	健康体操指導員の派遣件数	年間通しての全派遣数	件	目標	60	5	3
				実績	2	2	43
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	12,085	11,546	7,698	
支出	直接事業費 (b)	7,380	7,596	3,798	
	職員人件費 (c)	4,705	3,950	3,900	
		業務量（人）	0.70	0.50	0.50
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	450	450	475	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	450	450	475
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	12,535	11,996	8,173	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	派遣指導件数（件）		
実績数値 (g)	2	2	43
単位あたり区単コスト (a/g)	6,042,500	5,773,000	179,023
単位あたりコスト (f/g)	6,267,500	5,998,000	190,070

実施状況に対する評価	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区ロードレースは全地区中止となった。</p> <p>私学事業団総合運動場で行っているいきいきテニス教室についても、新型コロナウイルスの影響によりコートの人制限が設けられ、定員を1回12人まで減らさざるを得なかった。また、施設閉鎖もあり、最終的にジュニアテニス教室が11回のうち3回中止となり参加者28人の減少、社会人テニス教室が5回中止となり49人の減少となった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>地区ロードレースはまず通常通りの大会が実施できるよう取り組み、引き続きランニング・ウォーキング事業の推進を目指す。私学事業団総合運動場のテニス教室については、私学事業団とコート数を増やした協定を結び、新型コロナ前と同程度の定員を確保して事業を継続する。野球教室についても感染状況を見ながら現状を継続していく。</p>

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容													
スポーツ推進委員委嘱	教育委員会事務局	生涯スポーツ課	—	収入	特定財源	0	0	0	委嘱者数	人	54	53	52
一般	8	7	1	一般財源	7,542	6,734	6,521						
1(1)				支出	事業費	5,962	5,944	5,741					
青少年育成地区委員会や体育協会及びその加盟団体等から推薦された者がスポーツ推進委員として活動するために、教育委員会が委嘱する。 （定員55名・報酬月額@9,200円・任期2年）。					人件費	1,580	790	780					
					業務量(人)	0.20	0.10	0.10					
					間接費	0	0	0					
					調整額	200	90	95					
				トータルコスト	(a)	7,742	6,824	6,616					
				単位当たり	コスト(円) (a/b)	143,370	128,755	127,231					

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）							H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容																
体育協会助成				教育委員会事務局		—	収入	特定財源	0	0	0	体育協会加盟団体数	団体	39	39	40
				生涯スポーツ課				一般財源	3,625	3,790	4,010					
一般	8	7	1	3(1)			事業費	3,000	3,000	2,840						
葛飾区体育協会が行う事業に要する経費の一部を補助する。 【対象事業】 区民体育大会の開催・墨東五区（足立、江戸川、墨田、江東、葛飾）共催大会の開催、都民体育大会参加選手に対する助成、単位団体活動の助成及び育成、講習会の開催、スポーツ指導者の育成に関する事業							支出	人件費	625	790	1,170					
								業務量(人)	0.10	0.10	0.15					
								間接費	0	0	0					
							調整額	50	90	143						
							トータルコスト	3,675	3,880	4,153						
							(a)									
							単位当たり									
							コスト(円) (a/b)	94,231	99,487	103,813						

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容													
文化・スポーツ活動費助成	教育委員会事務局 生涯スポーツ課		—	収入	特定財源	0	0	0	助成対象者	人	838	862	256
				収入	一般財源	6,041	7,523	2,829					
一般	8	6	1		事業費	5,416	5,153	489					
1(4)					人件費	625	2,370	2,340					
文化・スポーツ活動を行う個人・団体が、東京都大会以上の大会等に出場する際の交通費・運搬費・宿泊費の一部を助成する。 【交通費】 日本国内については標準交通費、日本国外については10万円を上限とした往復の交通に要する経費 【運搬費】 10万円を上限とした資器材等を運搬に要する経費 【宿泊費】 1泊につき1人あたり7千円を上限とした活動期間中の宿泊に要する経費				支出	業務量(人)	0.10	0.30	0.30					
				支出	間接費	0	0	0					
				支出	調整額	50	270	285					
				支出	トータルコスト (a)	6,091	7,793	3,114					
					単位当たり コスト(円) (a/b)	7,268	9,041	12,164					

施策番号	2202	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	スポーツを支える基盤を整備します	スポーツ施設の利用者数	万人	目標	338.9	346.0	302.1
				実績	342.6	299.1	170.1
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	スポーツ施設の利用しやすい環境整備	生涯スポーツ課	◎	1332
		クライミング施設管理運営	生涯スポーツ課	◎	1334
		体育施設管理運営	生涯スポーツ課	◎	1336

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	スポーツ施設の利用しやすい環境整備						担当部	教育委員会事務局	関係課	—
							担当課	生涯スポーツ課		
開始年度	平成28年度						個別計画	スポーツ推進計画		
根拠法令	葛飾区体育施設条例、スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	2	説明等	1(1)(4)
事務事業目的	スポーツ施設を安心して利用できるよう老朽化に伴う改修や、利便性・安全性を向上させるための計画的なスポーツ施設の改修などに取り組む。									
実施内容	<p>【概要】 安全で快適にスポーツができる環境を提供するため、老朽化したスポーツ施設の計画的な改修を推進する。</p> <p>【活動内容】 ①奥戸総合スポーツセンター改修 ②にいじゅくみらい公園多目的広場観覧用ベンチ設置 ③スポーツクライミング施設整備</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	スポーツ施設の利用者数	—	人	目標	3,388,581	3,459,768	3,021,085
				実績	3,425,513	2,991,173	1,701,049
活動	奥戸総合スポーツセンター野球場改修等工事	—	—	目標	—	改修計画策定支援委託	設計委託
				実績	—	改修計画策定支援委託	設計委託
活動	温水プール館・エイトホール改修工事	—	—	目標	—	エイト外壁、温水床改修工事	エイト床改修工事
				実績	—	エイト外壁、温水床改修工事	エイト床改修工事
活動	荒川河川敷グラウンド改修工事	—	—	目標	—	測量委託	トイレ改修・防球ネット設置設計委託
				実績	—	測量委託	トイレ改修・防球ネット設置設計委託
活動	スポーツクライミング施設建設工事	—	—	目標	設計委託	設計委託・建設工事	排水管工事設計委託
				実績	設計委託	設計委託・建設工事	調整中
活動	にいじゅくみらい公園運動場多目的広場観覧用ベンチ設置	—	—	目標	—	—	設計委託・工事
				実績	—	—	設計委託・工事

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	181,126	200,000	5,676
		その他	375,000	384,000	14,000
	一般財源 (a)	135,639	295,213	64,055	
支出	直接事業費 (b)	671,225	853,933	68,521	
	職員人件費 (c)	20,540	25,280	15,210	
		業務量（人）	2.60	3.20	1.95
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	106,662	-165,441	17,764	
	減価償却費	104,062	93,870	15,911	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	2,600	2,880	1,853	
	（控）コスト対象外	0	262,191	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	798,427	713,772	101,495	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	施設整備着手数		
実績数値 (g)	7	8	5
単位あたり区単コスト (a/g)	19,377,000	36,901,625	12,811,000
単位あたりコスト (f/g)	114,061,000	89,221,500	20,299,000

実施状況に対する評価	<p>令和2年度は、経年劣化等で老朽化が進んでいたエイトホール床の改修工事を行ったほか、「見る」スポーツの充実としてにいじゅくみらい公園運動場多目的広場に観覧用ベンチ設置した。</p> <p>また、奥戸総合スポーツセンター野球場改修の設計委託、荒川河川敷グラウンドのトイレ改修及び防球ネット設置のための設計委託等を行い、より多くの区民に安全で快適にスポーツができる環境づくりを推進した。</p> <p>なお、クライミングセンター排水管工事設計委託については、未確定であった排水管敷設期限が東京都東部公園緑地事務所等との調整の中で令和5年3月と決定されたため、令和3年度に設計を行うこととなった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>令和3年度には、奥戸総合スポーツセンター野球場改修工事やJFAの公認の期間が経過する奥戸総合スポーツセンター陸上競技場インフィールドについて、公認を引き続き受けるための人工芝ピッチ充填剤入替工事を実施するほか、公園の全体的な工事に合わせて小菅東スポーツ公園テニスコート改修工事等を行い、区民が安全で快適にスポーツ活動に取り組める施設を目指していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	クライミング施設管理運営					担当部	教育委員会事務局		関係課	—
						担当課	生涯スポーツ課			
開始年度	令和2年度					個別計画	—			
根拠法令	葛飾区体育施設条例、スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(4)
事務事業目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会より正式種目となったスポーツクライミングの普及を通して、区民のスポーツ参加機会の増加を図り、区民がスポーツに親しみ、健康づくりに取り組むことができる環境を提供する。									
実施内容	<p>クライミング施設の運営は専門的知識を要することから、クライミング施設の運営経験がある事業者へ委託により運営を行い、スポーツ施設を有効に活用した事業を実施することで利用者数の増大及び区民のスポーツ実施機会の拡充を図る。</p> <p>【活動内容等】</p> <p>①施設の運営に関すること ②施設の維持管理に関すること ③大会等の開催に関すること</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	東金町運動場スポーツクライミングセンターの利用者数	—	人	目標	—	—	—
				実績	—	—	31,430
活動	大会・イベント開催回数	—	回	目標	—	—	—
				実績	—	—	3
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	—	—	0
		都道府県支出金	—	—	0
		その他	—	—	8,506
	一般財源 (a)	—	—	48,525	
支出	直接事業費 (b)	—	—	47,671	
	職員人件費 (c)	—	—	9,360	
		業務量（人）	—	—	1.20
	間接費 (d)	—	—	0	
	調整額 (e)	—	—	6,018	
	減価償却費	—	—	4,720	
	金利	—	—	158	
	退職給与引当	—	—	1,140	
	(控) コスト対象外	—	—	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	—	—	63,049	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	利用者数		
実績数値 (g)	—	—	31,430
単位あたり区単コスト (a/g)	—	—	1,544
単位あたりコスト (f/g)	—	—	2,006

実施状況に対する評価	<p>当初は令和2年4月からの供用開始を予定しておりオープニングイベントを実施する予定をしていたが、コロナウィルスの影響で開催を中止することとなり、供用開始も令和2年6月1日となってしまった。</p> <p>また、コロナウィルスの影響で施設を休館等した期間もあったが、年間の利用者数は当初の想定を上回る結果となり、多くの方にスポーツ参加機会を提供することができた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>共用開始の年度であった令和2年度の結果を踏まえ、委託事業者との連携を円滑に行い、より安全で安心して利用できるよう施設の運営に努めていくことで施設利用者の増加を図っていく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	体育施設管理運営				担当部	教育委員会事務局		関係課	—	
					担当課	生涯スポーツ課				
開始年度	昭和59年度				個別計画	スポーツ推進計画				
根拠法令	地方自治法、葛飾区体育施設条例、 葛飾区の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、スポーツ基本法									
予算説明書	会計	一般	款	8	項	7	目	1	説明等	2(1)
事務事業目的	指定管理者制度を導入し、民間事業者の柔軟な発想による経営手法及び質の高い企画能力を活用し、サービスの向上及び利用者ニーズへのより迅速な対応を図る。									
実施内容	<p>【概要】 体育施設の運営に関して、地方自治法第244条の2第3項に基づき指定管理者制度を導入し、民間事業者と協働して開館日や利用時間及び利用種目等を拡充させる。そしてスポーツ施設を有効に活用した事業を実施し、利用者数の増大、施設及びコースの満足度向上に努める。運営状況については、主管課が指定管理者の報告を受けながら適宜、管理を行う。</p> <p>【活動内容等】 ①体育・スポーツ及びレクリエーションの指導並びに普及に関すること ②健康増進及び体力向上に関すること ③体育施設の使用に関すること ④体育施設の維持管理に関すること</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	体育施設の利用者数	—	人	目標	2,500,977	2,566,407	2,194,170
				実績	2,540,997	2,172,446	1,291,446
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	(a)	922,309	1,139,233	1,086,266
支出	直接事業費	(b)	899,999	1,114,645	1,064,816
	職員人件費	(c)	17,775	24,490	21,450
		業務量（人）	2.25	3.10	2.75
	間接費	(d)	4,535	98	0
	調整額	(e)	206,197	213,655	212,947
	減価償却費		203,947	201,732	201,732
	金利		0	9,133	8,602
	退職給与引当		2,250	2,790	2,613
	（控）コスト対象外		0	0	0
	トータルコスト	(f=b+c+d+e)	1,128,506	1,352,888	1,299,213

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	管理対象面積（㎡）		
実績数値	(g)	441,040	441,040
単位あたり区単コスト	(a/g)	2,091	2,463
単位あたりコスト	(f/g)	2,559	3,067

実施状況に対する評価	—
今後の方向性	—